

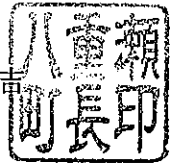


八 重 都 第 551 号

平 成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

八重瀬町長 中 村 信 吉



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

みだしのことについて、平成20年9月19日付け国土企第37号の今後の道路行政についての意見・提案の提出について（依頼） 別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見

様式1

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県八重瀬町

現在、地方自治体は、その大半が財政難の中、道路行政を行っていると思われます。

当町は、那覇市のベッドタウンとして人口が増えつつあるが、町の大半は、農村の集落を形成しており集落内の生活道路は老朽化が進んでいる状況にあり、財政が厳しく、道路の維持管理等が行き届かない中、道路行政を行っている状況であります。 よって、今後道路を整備するに当たり、更なる高率の補助事業(メニュー)を増やし、特に、隣接する市町村との連絡道路の整備に関しては、100%の補助にするなど。また、その補助事業を行う為に必要な費用対効果の緩和(人口の密集してない町村は、費用対効果が上がらない。)も考慮ほしい。

更には、集落内の4m未満の道路整備や排水路等の再整備または、維持補修等の行える高率補助事業などを行ってほしい。

今後の道路行政についての意見

様式2

②—1 地域の現状と抱える課題

沖縄県八重瀬町

○現状

- 1 財政が厳しく高率補助でなければ新規道路の整備ができない
- 2 補助事業の採択条件で費用対効果が上がらない
- 3 市町村界などの幹線道路は、通過交通と域内交通が錯綜し、混雑を引き起こしているが、当該道路を整備しようにも隣接する市町村の整備優先順位において後回しとなっている。また、隣接する市町村においても財政的に負担する事が厳しい状況にあるとのこと。
- 4 集落内の狭い道路に対し財政難の為整備ができない
- 5 老朽化した排水等の整備が多すぎて維持費がかかりすぎる

○課題

- 1 新規事業においても補助率が低く、新規採択に苦慮しており、更なる高率補助事業(90%以上)
- 2 費用対効果の緩和
- 3 市町村界の交通量の多い幹線道路は100%の補助率で整備を行えるよう考慮してもらいたい
- 4 集落内の生活道路に対し車道幅員に囚われなく整備ができる高率補助事業を新たに設ける
- 5 道路排水等の再整備や小規模な維持補修等ができる補助事業の導入

今後の道路行政についての意見

様式3

②－2 地域の目指すべき将来像

沖縄県八重瀬町

国、県等と連携のもと、交通渋滞のない安全で利便性の高い幹線道路や主要地方道の整備を促進すると共に地域では、主要道路と生活道路が円滑に利用できるよう、地域内幹線道路の整備をはじめ、地域住民が安心して歩くことができる歩行空間を確保すると共に、地域の景観や歴史・文化的資源を活かした生活道路の整備を行い更には道路の維持管理を充実させることにより、安全で安心して歩ける歩行空間等の環境整備を進めて行きたい。

今後の道路行政についての意見

様式4

③ 道路施築の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

沖縄県八重瀬町

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
・安全で安心して歩ける歩行空間の確保	老朽化した道路排水施設や舗装等の再整備や維持管理	整備することにより弱者に対し安全で安心して歩ける歩行空間が確保できる	地方財政の負担軽減